

## 第8回 千曲市総合計画審議会 議事録

日時 平成28年11月18日(金) 午後1時30分

会場 総合教育センター 2F大研修室

### 1. 開会

<開会のあいさつ>

### 2. 審議会長あいさつ

<会長あいさつ>

### 3. 会議事項

#### (1) 千曲市総合計画「基本計画」に係る中間答申内容について

<事務局より説明>

委員：第1部会の委員の出席率が良くないようである。第1部会で審議している内容について審議会の委員全員で議論を深めていくのが妥当ではないかと考えているがいかがか。

会長：第1部会は私も参加している部会だが、委員の方々のご都合でそういう事であったという事でご承知いただきたい。

委員：基本構想に係る部分の説明もあったが、他の今まで重ねてきた審議で出てきた基本構想に係る意見というものは、どのように反映されるのか。

総合政策担当部長：部会で協議をいただき、審議会で報告されている部分については審議会委員全員の確認がされていることから、部会で議論された「基本構想」に係る部分について、「基本計画」に合わせて会議事項(1)の中で協議していただいていると理解願いたい。「基本構想」については、会議事項(2)で、もう一度議論することになっていることも理解をいただきたい。

委員：第一次総合計画の中で基本目標⑤にあった「都市基盤」が1番目に来たという事が、唐突な感じがあると再三意見を出してきた。この審議会の中でもそのような意見があったし、会長が順番を変えても良いのではないかという発言もあったので、それがこの審議会の答えだと思うがいかがか。

総合政策担当部長：まずは会議事項(1)の「基本計画」の修正について固め、その後、ただ今の意見について議していただきたいと考えている。

会長：基本計画(案)の5項目に関しては、いかがか。

委員：文言の修正については部会でも認めていることなので良いが、市はなぜ自分たちの出した文言を変えざるを得なかったのかという事について、市の意識が甘かったという事になるので、それを認識する必要がある。

総合政策担当部長：それぞれの部会の中に、市の担当の部課長が入り、委員の真摯なご討議に参加をし、一定の方向付けを出している訳ですので、ご指摘の点は十分

認識しているのご理解願いたい。

委員：今は基本計画に係る中間答申についての議題だが、どうして基本構想からやらないのか。

総合政策担当部長：基本構想から始めて、その後基本計画という形で審議いただいているが、基本計画についてはそれぞれの専門部会において一定の方向付けがまとまってきているので、まずはその部分を確認いただいた後、基本構想を議論していただきたいという考えから、そのような順番になっている。

会長：基本計画（案）の5項目については、専門部会等で議論いただいた部分の一部として、確認事項ということで挙げられている。5項目に関しては確認という事でよろしいか。

では、次第の会議事項（1）にある基本計画（案）の（1）から（5）の部分に関しては確認したという事とする。

続いて、会議事項（2）の基本構想（案）の中間答申案の内容について、事務局から説明をお願いします。

## （2）千曲市総合計画「基本構想」に係る中間答申内容について

### <事務局より説明>

委員：ひとつのまとまった文章で見ないと全くわからない。文章で出してもらうことはできないか。

総合政策課長：「基本目標⑤」に、「豊かな歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち」という項目があるが、この「豊かな歴史」の「豊か」を「輝かしい」と変えるもので、全体そのものは特に変更する予定はない。

会長：今、説明された部分というのが、「基本理念」の文言と、「基本目標」の文言の整合を図りたいという部分を答申に入れようという事である。それについてはよろしいか。

では、その次の2番目の「基本目標」の部分について事務局より説明をお願いします。

### <事務局より説明>

会長：今の説明は、（資料）基本構想論点整理の基本目標のところ④と⑤という意見があり、⑤意見の「基本目標⑤」にあるようなソフト的内容を含めた文言を「基本目標①」の方に追加して、表現を修正しようということであるが、これで確認ということではよろしいか。では、⑤で確認したという事とする。それでは3点目、「3 土地利用の方針」につきまして、事務局の方から説明をお願いします。

<事務局より説明>

会長：「3 土地利用の方針」についての答申内容としては、「立地適正化計画」と整合をとった形にしたいという事だが、意見があればお願いしたい。

委員：基本目標の今回の一番のポイントは、基本目標①に持ってきた内容である。「北陸新幹線新駅の設置をはじめ、大型商業施設誘致」と明確に謳っている。これについての議論はもっとあって然るべきだと思う。この文言を入れるのであれば、私はひとつの付帯意見みたいなものを出させてもらいたいと思っているが、他の委員の意見もお聞きできればと思う。

会長：ただいまの意見に関してはいかがか。

委員：とりあえず、会議事項（3）の「基本構想 その他」で用意されているものがあるという事なので、そちらを聞いてからでいかがか。

会長：別紙2にある、「1」、「2」、「3」の3項目、これを中間答申で確認した内容としてよろしいか。

<質問、意見なし>

では、この3点は確認いただいたという事で、次に進めさせていただきます。

それでは、会議事項（3）について、事務局から願います。

(3) その他

<事務局より説明>

委員：「科野 さらしな 史都が賑わう信州の交流拠点 千曲」ということだが、「千曲市」とはならないということで良いのか。「千曲」というと、何かすごく大きくくりになってしまう感じがする。

委員：初めてこれを目にしての感想だが、「科野」を漢字で書き、「さらしな」をひらがなで書いているが、この「科野」の字にちょっと違和感がある。むしろ、ひらがなとひらがな同士でも良いのではないかと。それから「史都」という言葉、この言葉自体の意味合いというものが、字としてはわかるのだが、もっと良い言葉が無かったのかと感じた。

委員：「科野」という言葉は「川東」を意味して、「さらしな」は「川西」を意味している文言ではないかという風に推察する。

委員：あえて漢字で書くというのは、相当深い意味をとったということだと思う。それで、「信濃の国」の「信濃」というのは、この「科野」は使わない。この「科野」だと、植物の「科」から始まって色々な意味合いがある。「科野」という意味のいわれを考えた時の違和感を申し上げた。他意はない。

委員：第一次総合計画では、「千曲の魅力」という言い方にした。観光部分も歴史文化もみんなそこへ包括した形で「千曲の魅力」というような言い方で謳った。

「科野」は少し文学的すぎるのではないか。私はこれからの大きなビジョンとして「協働」という事を謳っているのであれば、何かそれに近いようなことばが良いのではと感じている。

委員：3行面の「文人墨客（ぶんじんぼつきやく）」という表現について、ニュアンスはすごく伝わって、平安時代から江戸時代に色々書いたり、景色、風景を映したりという事だと思うが、若い世代が見たときにイメージしづらいのではないかと感じた。

委員：基本構想の「第2章」に「千曲市の将来像の姿」があるが、この文章を読んで、千曲市の将来像をイメージできないのではないか。後半の「地域の連携、交流を高めることで躍動感あふれる勢いのある史都の創生を目指します。」というところは、市の事を書いてあるが、それ以外はみんな歴史の事である。まったく千曲市の将来像が見えないという点ではどうなのかなと感じる。もう少し具体的な事に触れるべきであり、歴史などについては多少入れる事は構わないが、これからの10年に向けて千曲市はこういう姿になるべく近づけていくという事があるべき。

委員：もっとビジョンが描けるような文章にしてほしい。「史都」ということばも良く議論する必要があると思う。将来像が描けるようなキャッチフレーズにしてももらわないと、審議委員としての責任もあるので、しっかりと検討することとしたい。観光ガイドブックみたいなものの一部ならこれで良いと思うが、千曲市の基本的なビジョンや将来像としては、歴史や文化の方面に文章がちょっと偏りすぎていると感じる。

委員：100万人を超える県民というのは、長野と上田と松本の3市の合計が約100万人という意味か。他へ発信する情報でなくて、市民に対しての配布するものであることを考慮すると、市民目線からかなり離れたような表現のような気がする。

委員：色々な意見が出るという事は、将来像や自分たちのこれからところをもう少し検討すべきということだと思う。第一次総合計画の「千曲の魅力と多彩な力が未来を拓く」は、バランスがとれた文章だと思う。

委員：第一次では「将来像」のあとに3つの項目に分けて都市像に込められた思いがつつられているが、今回はこのような構成にはならないのか。

総合政策課長：パブリックコメント等も含めて、たくさんの意見が出てくると思う。それを見た上で必要ということになれば検討していきたい。

委員：今日示された「千曲市の将来像」でパブリックコメントに付すという事だが、審議会で一切審議されてないがパブリックコメントに付すということを説明

するのか。

総合政策課長：当初は基本構想（骨子）に書いてあるように、最終の段階で示そうと考えていたが、中間答申をパブリックコメントに付すにあたって、将来像が入っていた方が意見を出しやすいのではないかと考えた。審議会の中では審議されていない旨は表記する。

会長：今日の議題は以上である。中間答申としては先ほど事務局の方から説明があったように、基本計画に係る5項目、それから、基本構想に係る今の「別紙2」の内容が審議会として確認されたという内容の中間答申をさせてもらう。それから、基本計画（案）をパブリックコメント、あるいはまちづくり懇談会にて説明するという事なので、その時に出てくる意見もたくさんあるかと思う。

委員：この計画は、前期の5年間についてある程度拘束するものなのか。向こう10年の計画という捉え方でとらえて良いのか。これで29年度から、前期計画という形で冊子になるのか。

総合政策課長：冊子にしようとして考えている部分は、今お手元にある基本構想と基本計画である。そこに財政計画が組み込まれてくる。10年は基本的な考え方であり、基本計画の具体的施策の部分は5年のスパンで考えることになっている。

委員：新幹線新駅誘致について、市長は4年ぐらいのうちには方向付けすると言っている。行政はよく努力をし、調査し、交渉して、早めに方向性、結論を出してもらいたい。

委員：総合計画の全体を見通すと、個別には非常に良いことが書いてあって、それぞれの部局で非常に研究されて、先進事例を学ぶとともに列挙してあって、なかなか良く出来ていると思う。市長も新幹線だけではなくて、子育てだとか、高齢者に住みよいまちだとか、歴史、文化というものも全部目を配っていると思うが、基本目標①については、もう少しぼやかして、客観的なバランスのとれたものにしていくべきと考える。

委員：第1部会での議論は議事録に記載のあるもの以外にも色々あった。市からも色々説明があったが、一定の指摘をしていることも申し上げておきたい。

会長：基本構想は10年向こうの話になるので、少し総括的な内容にして、5年間の基本計画の方で別途謳う方が良いのではないかとも思うが、審議会としては、中間答申として先ほどの内容で答申はさせていただきたい。

総合政策担当部長：ただいま議論いただき、中間答申案としてまとめていただいたが、細かい文言については、正副部会長と事務局に一任という事でご理解いただければと思う。

#### 4. その他

総合政策課長：市では行政評価の取り組みをしているが、この審議会の委員の中から、この行政評価の外部評価委員を引き受けていただきたいと考えている。現在4つの部会に分かれているが、できれば各部会の正副部会長さんに外部評価委員会をお受けしていただきたい。具体的な作業は、今すぐ取りかかるという事ではなく、年明けぐらいに評価委員会も招集する予定だが、その前にご確認等をさせていただく予定でいる

## 5. 閉会

<総合政策担当部長より閉会のあいさつ>